

令和8年度特別電源所在県科学技術振興事業における大学等委託研究 研究テーマ選定評価基準

1 本書の目的

令和8年度特別電源所在県科学技術振興事業における委託研究の候補として、県内の大学又は工業高等専門学校（以下「大学等」という。）に所属する研究者から応募があった提案書類から、委託研究の候補を選定する評価基準について定めるものである。

2 応募テーマ

- (1) ものづくり産業の高度化・新産業の創出につながる基盤技術研究（グループ研究・単独研究）
- (2) キーテクノロジー関連分野の成長につながる基盤技術研究（グループ研究・単独研究）
- (3) 若手研究者による基盤技術研究（単独研究のみ）

3 評価項目等

提案書類の評価項目、評価の観点及び配点割合は以下のとおりとする。

評価項目	評価の観点
研究の内容・妥当性 (配点割合30%)	<ul style="list-style-type: none">○ 社会的背景、業界のニーズ等の知見は十分か。○ 課題等について、的確に認識しているか。○ 課題解決へのアプローチは適切なものか。○ 岡山県施策・産業技術シーズとの関連を念頭に置いた（出口を見据えた）研究であるか。○ 研究の実施内容が具体的かつ明確になっており、課題解決に向けて適切なものとなっているか。○ 今年度の成果目標が具体的かつ明確か。
技術的優位性等 (配点割合20%)	<ul style="list-style-type: none">○ 新規性、技術的優位性が認められる研究であるか。○ 他の先行技術や競合研究等についての調査は十分に行われているか。○ 知的財産についての考え方は適切か。
実現可能性・ 実用化の見通し (配点割合20%)	<ul style="list-style-type: none">○ 研究成果が実際に企業や産業に応用されるための技術的な実現可能性があるか。○ 事業化の可能性は具体的で明確であるか。○ 研究成果を具体的な製品やサービスに転用するための計画やステップが明確であるか。
県内産業への貢献 (配点割合30%)	<ul style="list-style-type: none">○ 研究成果の県内産業への波及効果が期待できるか。○ 将来的に事業化や企業等との共同研究などにより、県内の企業等への技術移転が期待できるか。○ 当該研究を深化させることで、岡山県の科学技術振興に寄与し、県内関連産業の振興に役立つ研究であるか。

4 選定方法

審査員の評価による得点が上位のものから、候補を選定する。
なお、令和7年度の委託研究の成果も評価の参考とする。

5 その他留意事項

採択数及び採択金額については、文部科学省補助金の交付額等を勘案し、本県において最終的に決定するものとする。